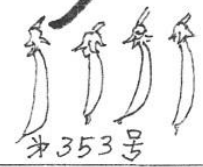


2017年5月14日の報告

原発いらん！ 山ノネットウラウラ



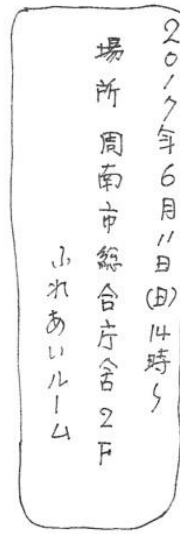
※353号

次の集り

2017年6月11日(日) 14時

場所 周南市総合庁舎2F

ふれあいルーム



2017年5月17日、中国電力は上関原発建設予定地でボーリング調査をすると発表。新聞記事です。↓P④

○ボーリングの位置。(中電のホームページ)

○ヤウに5月22日の中国新聞にはこんな記事が…
↓P⑤



2017年5月10日、山口県漁協が突然祝島にやってきました。これまでは一週間に一回は通報して来ていたのになぜ？

小中 進さんのブログの記事です。↓P⑤

山口県漁協は祝島支部の赤字を各自の補償金から払えと迫ったという。無理矢理にでも補償金を受け取りせよという汚いやり方だ。

祝島では全国からのカンパが赤字補填に当てられているので、いらぬお世話なのに。

2017年の漁業補償契約の時から、祝島の漁師さんは補償金の受取りを拒否。中電はその金額を供託した。供託期間の10年を過ぎた時、山口県漁協が横から手を出してこの金を取り込み、それを手を賣る品を賣って祝島の漁師に受け取りせよと企み続けている。

山口県漁協ってなんだ。本当に許せない恥知らずな組織だと思ふ。どうしてこんな組織があるのか、どんな倫理感の人間たちが集まっているのか。

作製・印刷

周防灘の自然を守る会

総がかり行動

やぶくさ県民大集会

6月4日(日)

14:00~17:00

山市民館大ホール

ゲストトーク
ニウケツ厚・内山新吾

安保法制強行2015.9.19

あの日を忘れない。

海を愛する漁師にとつては敵ではない。



「生命・脱核シムクロード行進」について。

地球上にゆきもある原発の危険を監視統制する国際機構をつくらうという韓国の李元宗(リウウォンゴン)教授(ウ)のいのかげの挑戦に加わらう。何事もはじまうは一人から、一歩から…

○3・25の県民大集会で継続 厚さんと共に、外の三段池ステージでアピールされていたのを聞かれた方も多いと思ひます。

○鉄野さん(上関原発を建てたくない下関連絡会)の呼びかけ文です。↓P⑥

○この集り ↓長崎の行止を止まそう。 ↓P⑥

①

「原発運転差止の仮処分申し立て」、広島県の伊方原発差止の仮処分が、不当な判決を敗訴となったが、政府に最高裁が裁判官の人事権を握っていること、このようにない状況に。→厚瀬 隆さんがこの資料です。 ↓P④

○その他の原発をめぐる動き、その他

○政府核のゴミ地層処分可能地域今度にも「マップ」提示。 ④24 玄海3.4号再稼働 佐賀県知事が同意。

○4/26 原子力委員会報告 電力に透明性求める。 ④4/27 規則委 核燃料の保管官に金属容器器後押し。

○5/22 高浜4号機 送電開始

○原発再稼働に交付金15億(1/15 組) ④太陽光電 稼働は4割以下に。

④F1T改正 買取価格36円 ↓21月に下落したため。 ④被爆2世 援護法裁判 ↓P⑧

○「原発」を不謹慎けん引(5/5 日経) ↓P③

○「兵謀」非 捜査既に横行。 ↓P⑧

■例会の報告(5/14)

○参加地域 田布施、光、下松、周南、山口、宇部
○現地のようす。

先月わかったことだが、田の沖から祝島へ海底を通って敷かれていた電力とV.T.Tのケーブルが、田の沖を通らないルートに変更されていた。

先月末V.T.Tの回線が上関↓祝島ルートから平郡島↓祝島ルートに変更。

電力のケーブルは2年前に取水口側から敷設された。これと田の沖をいつでも埋立こられるように準備したことになる。

蒲井から四代への道路のことは何度も言いきり、中電発注工事と、道路の拡幅に5億円、トンネル工事に13億円。総額20億円はかかっているのは。

風力発電は200wが2基。白い展望台のある山(長島)に建てるための工事が進んでいる。

総事業費約20億円、早ければ19年2月に運転開始の予定。中電に売電の確約はあるのかなど町民全体への説明会はなかったという。

直近の福清と戸津では屋敷、謝罪会をしたが、ほとんど聞きに来る人は居なかった。

小・中学校の真上に当り、小学校までは1.4kmしか離れていない。

戸津の集落は平面距離にすれば80mしか離れていない。もつと慎重にやるべきではないか。

平生町の山の上にある風車は150mと上関のそれより小さいが、それでも2kmより近い人は騒音被害をうたえているし、低周波の影響が耐え難いと訴えている人もいる。

200mだともっと遠くまで影響があるのではないか。

風車をつくる山へは戸津からの音が近いのに、なぜこんなに遠くから大がかりな工事をやるのだろうかという疑問視する声もある。

もと国立市市長上原公子氏は、在任中桜並木が続く大学通りの美しさを守るためマンションの高さ制限に力を入れた。

それを業者から「環境賠償」で訴えられて敗訴。退任後に4500万円もの賠償金を請求されている。

東京高裁、最高裁はこういう場合、業者よりも市長の方を守るべきではないのか。

市長個人の行状ではなく、市民、市議会に交えられた市長の行状なのだから。

東京高裁の判決は「首長は行政手続きだけをしいればよく、それ以外の行状を規制している。

これでは、国の出先機関ごしかなくなる。民意を実現することこそが、地方自治の神髄のはず。

これは国によるスラップだ。
地方自治への

○5月10日、県漁協が祝島に来た件について。

県漁協の動きは許せない。

そもそも、県漁協とは県内の漁業振興をはかるのがその役割のはずなのに、なぜ祝島の漁師に原発をムリヤリにでも押し付けようとするのか。

県内には独立漁協もある。ちゃんとやれている。



○3・25上関原発を建てたせいで県民大集会のこと。

——事務高会議より。

●集会の報告と、お礼のチラシを作ったので(印刷は同封)賛同人になつてくれた人へあげてお礼を言ってます。

●集会の様子をKRYOBのカメラマンがとって下さったDVDがあります。これも希望される方に差し上げます。何枚でもスプリーディングします。ホームページにもアップしていきます。

●今後のとりくみとしては

①県内のあちこち目立つところに、「上関原発反対」の看板を立てる。場所を提供して下さいる方を公募する。

②倉本幸平さんのマンガパンフを作る。

などを考えています。

6月に次の事務局会議があるのをごぞろぞろ決めます。

●5/12には清水敏保さん、柳徳正幹さん、原康司さん、安藤さん、自治労の山下さんその他と県議で県への申し入れをした。

●県の商工労働部エネルギー担当理事は、安藤さんと一緒に替った。

このやりとりの回答は文書でくれるように言った。

●「財団法人原原子力産業協会」という原発を推進する財団が、その他オールの組織があり、そこには原発立地自治体が入っているが、なぜか山口県も入っている。

「原発ゼロのカンター(岩波新書)」という本を読んどほしい。

○中村敦夫さんの一人芝居「線量計が鳴る」について。

中村敦夫さんと小中さんは旧知の仲で、直接電話がありました。

「福島県の事故以来、原発問題が胸につかえている。残された人生をこのことにかけて訴えたい」とのこと。フロンテール、俳優、作家、元参議院議員。

「木枯し紋次郎」で名を馳せ、中村敦夫の地球発22時のギヤスマーとして世界各地の現場を歩く。1999年参議院議員となり、環境派として活動。小説「モンマイ」著者ほか著書多数。

朗読劇「線量計が鳴る」では、原発を働いていた配管技師がなぜ福島県の事故が起ったのか、その謎を解きとく。その中で、原発政策の問題点や放射能の人体への影響などが次々に語られていく。

▲中村市で9月17日(日)ふれあいセンター
▲原発部で9月30日(土)10月1日(日)(場所未定)

○ドキュメンタリー映画「知事抹殺」の真相の上映会をして下さい。

「福島県知事を5期つとめた佐藤栄佐久氏。原発、地方分権をめぐって数々関と闘ってきた剛腕知事が東京地検特捜部に無実の罪を告げられ、おバマを失う」

著書「知事抹殺」の帯より。

○「原爆の図」を所蔵する丸木美術館が老朽化し、作品の保存がもつかしくなっています。

この人類普遍の遺産を守るための新館建設が計画されています。

「原爆の図」保存基金(目標5億円)にご協力下さい。

丸木美術館はこれまで行政や企業に頼ることで市民の力に支えられてきました。これからは自由で自立した活動の必要がある美術館として「史をつないでいきたい」と願っています。

振込先 00260161138290

口座名 原爆の図保存基金

10ヶ月以上寄付された方のお名前には、新館に揭示いたします(希望制) 寄付は税金控除の対象となります。お問い合わせは、原爆の図丸木美術館(0493121326)まで。

○広島で小島水鏡一郎氏の話を聞いた。フィランソ下のオンカロ、放射性廃棄物の地層処分場に行き、オンカロとはかくれ家の意味。岩盤ごときた島。40m地下まで岩盤をくり抜いて、そこに2万4千立方メートルの。

それでも原発2基分がゆくと。それにやはり濃度が。長い間には汚染がもれ出る恐れがある。フィランソ下には4基の原発があるのでまだ足りない。

日本にはどんな岩盤はない。おまけに原発は54基もある。どうするのかわ、とにかく今すぐ「原発は絶対安全」と言われたのにだまされてきた。

ひたすら反原発、脱原発を訴える講演だった。

○5月21日に中国5県連絡会議の幹事会がありました。

おじろマコ・ケンを生で聞いた。↓↓P⑦

裁判のこと。5月には裁判がなかったのが前号と同じです。

- 上岡原発用地埋立禁止住民訴訟(山口地裁) 2017年6月14日(水)午前11時
- 伊方原発差止め仮処分(岩国支部) 2017年6月23日(金)午後3時
- 公有水面増上差止め(山口地裁) 2017年7月5日(水)11時
- 自然の権利裁判(山口地裁) 2017年7月5日(水)11時30分

会計報告

2017年5月の会計報告—原発いらん/山口ネットワーク

3月の報告の残高		366,183
収入	会費とカンパ	38,500
支出	3月の報告作製・送料	25,573
	4月の報告	30,175
	4月、5月例会会場費	1,800
	送料など	1340
差引残高		58888
差引残高		345,795

○会費とカンパのお報じをありがとうございます。
○年会費は2000円です(郵)01590-5-27469
会計係三瀬(0834-88-3212)

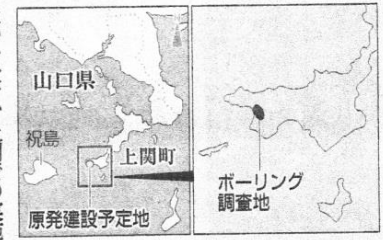
上関ボーリング調査へ

中電「地質データを補強」

中国電力は17日、山口県上関町の上関原発建設予定地の断層を把握するため、原発の新規制基準を踏まえたボーリング調査をすることを発表した。2011年3月の福島第1原発事故を受けた準備工事の中断以降、敷地内では初めて。「将来を見据え、データを補強して

万全を期す」としている。対象は、中電が09年までの地質調査で「約12万〜13万年前以降の活動はない」と判断した断層。昨年8月に再稼働した伊方原発3号機（愛媛県伊方町）など既設原発の適合性審査で採用された、鉱物脈を確認する方法で追加調査する。来月

中旬にも着手し、1年間に陸域6カ所程度を調べる。中電上関原発準備事務所によると、原発事故前に国の原子力安全・保安院の意見聴取会で受けた指摘を基に、試掘坑や岩盤の調査は続けていた。昨年1月、今回の調査方法が島根原発2号機（松江市）で認められ



たのを受け、上関での実施を模索してきたという。国が「新増設については現時点で想定していない」とする中、中電は上関原発の早期着工に意欲を示す。山口県の村岡嗣政知事は昨年8月、予定地の海を埋め立てる免許の延長を許可した際、原発本体の着工時期の見通しが付くまでは工事しないよう中電に要請。中電は「慎重に対応する」と回答している。

同事務所は「埋め立て工事とは直接関係がない」と強調。県商政課は「知事要請の範囲外と理解している」とした。

(井上龍太郎、佐藤正明)

現在の水冷式だと、水の流
れが止つたり、とたん温
度が上がりはじめると危険な
状態になる。再稼働
なんのやり、こらうと

中核燃料の保管に 金属容器後押し

規制委、検討へ初会合

原子力規制委員会は26日、原発の使用済み核燃料の保管方法を巡り、金属製容器による「乾式貯蔵」の基準見直しを検討する会合を初めて開いた。水や電気

が必要な燃料プールでの保管に比べ、災害に強いとされる。審査で時間がかかる項目を改定し、移行を後押しする。

金属容器は放射線を遮る特殊な容器で「キャスク」と呼ばれる。5年ほどプールの命令で使用済み核燃料をキャスクに密封し、空気で冷却して保管する。

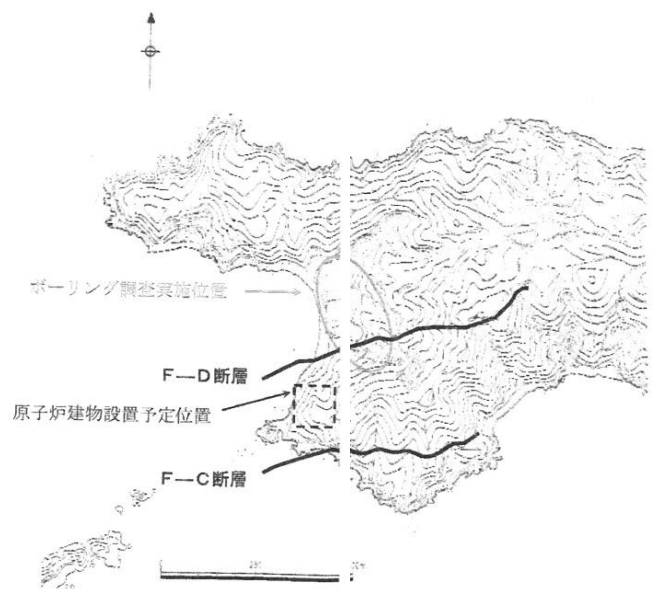
現在は原発ごとの基準地（耐震設計の目安となる揺れ）に基づき、キャスクを保管する建屋の耐震性を評価する必要がある。規

制委の田中俊一委員長は強固な容器に保管されていれば、厳しい耐震性が必要なとし、基準を見直す考えを示していた。

ボーリング調査の概要

中電のホームページより

○調査位置



広瀬 隆さんの講演会の資料より。

- 2014年5月21日——福井地裁・樋口英明裁判長が「大飯原発運転差止め」判決
- 2015年4月14日——福井地裁・樋口英明裁判長が「高浜原発運転差止め」判決
- 2015年12月24日——福井地裁・林潤裁判長が「高浜原発再稼働差止め樋口英明判決を破棄」→2016年1月29日——高浜原発再稼働スタート
- 2016年3月9日——滋賀県大津地裁・山本善彦裁判長が「高浜原発運転差止め」判決→高浜原発運転ストップ
- 2016年4月6日——福岡高裁宮崎支部・西川知一郎裁判長が「川内原発の再稼働差止め仮処分申立てを棄却」→川内原発運転続行

- 2017年3月28日——大阪高裁・山下郁夫裁判長が西川知一郎判決に準じて「高浜原発再稼働差止め判決を破棄」
- 2017年3月30日——広島地裁・吉岡重之裁判長が西川知一郎判決を参照して「伊方原発再稼働差止め請求を破棄」→伊方原発運転続行

●2017年4月1日——住民側に立っていた大分地裁・竹内浩史裁判長が「伊方原発再稼働については松山と広島を待つ」と寝返りの捨てずりを残して、山下郁夫が待つ大阪高裁に栄転。「伊方原発再稼働差止め請求破棄」→伊方原発運転続行の可能性が大

- 2017年4月現在——東京地裁・永淵健一裁判長が福島原発訴訟団が告訴した東京電力幹部三被告の裁判を1年以上も開始せず。永淵健一は西川知一郎裁判長と同時期に福岡高裁の人事権を握る事務局長であった。
 - 2017年4月現在——松山地裁の現・裁判長も「西川知一郎判決の支持者」である。「伊方原発再稼働差止め請求破棄」→伊方原発運転続行の可能性が大
- △山口地裁のみ不明・・・枕を並べて討死か！

要するに、日本政府が握る人事権によって、司法が巨大な犯罪者集団を形成しているのだ!!

祝島へ県漁協職員、現る。

平成29年5月10日(水) 上関原発計画で祝島漁民の漁業補償受取問題で揺れる上関町祝島へ山口県漁協の職員が突然来訪しました。

県漁協の職員は、午後3時より公民館で県漁協の決算内容の報告、周辺漁協の経営状況の説明をするように地元祝島の漁民より求められ来訪したとしているが実態は、一部の補償金を受取りたいとした漁民らが県漁連に呼びかけたもので一般漁民の多くはただの決算報告会だと思っていた。

祝島の漁民は、上関原発に殆どの皆さんが反対をしていますが35年間の反対運動で高齢化が進み補償金をもらって楽に暮らしたいと考える漁民が増加傾向にあり心配されています。

突然の会議は、いつもだと30分くらいで終るのが通常ですが予測通り県漁協の報告が終了した後突如補償金を受取る決議を行う様に提案されましたが原発反対の意志が強い女性達により一蹴された格好で補償金の議決は流れてしまい約2時間で終了したそうです。

上関原発へ中電意欲

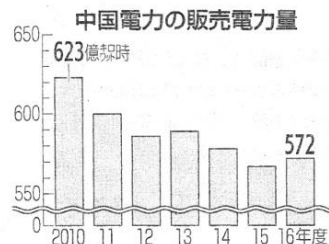
国のエネ計画見直し検討へ

17.5.22 中国



■背景

中電は6月にもボーリング調査に入る理由を、新規



上関原発の建設予定地。中電は6月にもボーリング調査を始める

中国電力上関原発(山口県上関町)の新設に向けた動きが、にわかに目立ってきた。

清水希茂社長は4月の決算会見で早期着工への意欲を表明。今月17日には、建設予定地の敷地内でボーリング調査を始めること発表した。国が現時点で原発の新増設を想定していない中で、着々と準備を進める背景には、国のエネルギー基本計画が今年、計画見直しの検討時期に当たることがありそうだ。ただ、原発を巡る課題は依然、山積している。

(境信重、井上龍太郎、山本和明)

電源比維持に必要論

制基準で断層の評価が重視されていることを踏まえて「将来を見据えデータを補強するため」とする。

昨年1月、原子力規制委員会の適合性審査で鉱物脈に着目した新たな評価方法を

が島根原発2号機(松江市)で認められ、中電は8月に上関で実施する方針を決定。今回は「データを積み上げるこれまでの取り組みの一環」という。

ただその視線の先には、国のエネルギー基本計画の見直しがあるようだ。

2014年に閣議決定された現在の基本計画は「原発依存度を可能な限り低減する」としてきた。今年は計画見直しの検討時期に当たる。電力業界には「原発の新増設が盛り込まれる可能性がある」と期待する声がある。

政府が示す30年の電源構成で、原発の比率は20~22%。老朽化した原発の「寿命」を原則40年とする現行の規制を当てはめると、30年の原発依存度は15%前後になる。5~7割が不足する。中電は「再生可能エネルギーを見いだす根拠だ。」

清水社長は決算会見で、「資源の乏しい日本で経済性や供給安定性、環境保全のバランスに優れる原子力の役割は大きい。一定の規模を維持するには新増設と建て替えが必要になる」と強調。早期着工への意欲を示した。

需要減 計画疑問視も

■課題

電力需要が先細る中で、上関原発が本場に必要なのか、という声もある。

東京電力福島第1原発の

事故後、節電意識が広がり、電力需要は減る傾向だ。中電の販売電力量は10年度の623億発時から、16年度は572億発時と8%減った。それでも中電が上関原発の新設を目指すのは、将来、老朽化する火力発電所の代わりに、新たな発電所が必要になると考えているからだ。

ではなぜ原発なのか。中

電は「地球温暖化の原因となる二酸化炭素を継続的に減らすため」と説明する。50年までに温室効果ガス排出量を80%削減する目標の閣議決定も念頭に置く。

最大の課題は、事故のリスクだ。中電は「新規制基準に確実に適合し、新たな知見に対しても適切に対応し、より安全性の高い発電所となるよう検討を進める」とする。

ただ、深刻な事故が起きた際の住民の安全確保や、使用済み核燃料の処分など、根本的な問題は解決していない。

上関原発を巡る動きに、反発の声も上がる。「脱原発へ」中電株主行動の会「の溝田一成代表世話人は「地震国の日本では原発を動かしてはいけない。中電の経営陣は計画を撤回し、再生可能エネルギーの活用などへ切り替えてほしい」と訴える。

「原発をめぐっての論議のすべてが崩れ去り、人類全体にとことんしつこく悩んでいる我々の運命に悩むことになる。誰の目にも明らかなのは、美しい瀬之内海を埋立こころまで原発を建てようとする中電を、わたらは決して許さないと計画しない。」

みなさん、『生命・脱核シルクロード行進』をご存知ですか？

この5月3日ソウルを出発した『生命・脱核シルクロード行進』の一行は一路、ローマ法王に会うための2年間720日間の旅に向かって今、韓半島を南下中です。
 主宰者である李元栄（リ・ウォンヨン）元水原大学教授らが企画したもので、目的は「世界を真に生命尊重と脱核するために原発を監視する国際機構を国連につくらせる」ためであり、この長い旅を通して世界24カ国の人々と草の根の交流を続けながら、最終的にローマ法王に会い、この訴えを届けようというものです。そのチラシにはこう書かれています。

国連は福島原発事故対応に無力
 国家権力の集合体である国連は地球村の安全と生命を守るのに限界があることが現れた。福島事故発生後5年間何ら対応も無かった。
 反核は核兵器に反対する平和追求努力として、人間の努力によって統制が可能である。核発電所は統制不可能である。早くからIAEA（国際原子力機構）があったにもかかわらず、スリーマイル（1979）、チェルノブイリ（1986）、福島（2011）など、50年間に三つの大型事故が相次いだ。
 このまま放置すれば、人類と生命体は絶滅する。地球村の生命と安全を守るためには別次元の努力・働きが必要である。

根本的な対策が必要

- ・ ロールモデルの一つは「ENSREG」（《European Nuclear Safety Regulator Group》）原子力の安全確保および廃棄物管理に関する欧州の専門家グループ。EU加盟国の原子力安全監督機関の長によって構成される独立機関。欧州委員会が2007年に設置。欧州原子力安全規制機関グループ。）
- ・ 地球村450基の核発電所の危険を監視、統制する国際機構が必要である。
- ・ 資本権力に絞られた国家ではなく、民衆が主体となり、生命価値を尊重する宗教界を糾合し、核（原子力）発電所の危険を監視・管理し、脱核と生命尊重の価値を追求する国際機構を結成する。
- ・ そのための最も有力な方法は、共に歩むことである。共に歩みながら親しまれる、親しくなった関係を基に、次の価値に共感し、実行策に共鳴する。

こうして巡礼の気持ちで旅をすることが記されています。

ヒロシマ発ナガサキ行き

そして日本では6月5日に広島でシンポジウムを開き、翌6月6日に広島をスタートして、6月15日に門司の小森江に到着します。そして翌日から6月28日長崎到着まで歩き、翌日九州を離れて台湾に行き、台湾でも行進を続けて、最終的に2年後にローマに到着予定です。途中にはチベットのダライ・ラマさんにも会う予定です。以下、李元栄さんのブログにコースが掲載されています。
<http://cafe.daum.net/earthlifekroad/hWYm/11>

これには日本国内の日別のコース地図も分かり易く載せられており、いつどこを通るかが分かります。また国内日程は <http://cafe.daum.net/earthlifekroad/hWYm/72> です。

ご理解とご協力をお願いします

韓国で練られた計画ですので宿泊場所等はホテルなどを予約しておられるようです。宿泊場所等が提供されれば大変助かるかと思えます。（2007年のストーンウォークコリアの「謝罪、友好、平和」の巡礼の旅では韓国各地のお寺や教会、ゲストハウスというように費用のかからない所に泊めていただきました）なお、上のブログにある「宿泊リストと国内日程」（パワーポイントソフトがないと開けません、その際は上の国内日程をご覧ください）を添付します。

山口県でもこれからの準備に入りますが、ぜひとも九州各県の反核運動グループとも結んで、この行進を成功させようではありませんか。急ではございますが、世界を結ぶ韓国の元大学教授の李元栄先生達の命がけの行動をぜひともご理解いただき、ご支援をお願いします。

李元栄先生のホームページ <http://liferoad.org> は英語で表記されています。
 李元栄（LEE Won-young）教授は leewysu@gmail.com 日本語でも通じますが長文は控えた方が良くかと思えます。
 なお、事務局はTanaka Hiroshiさん +82-10-6668-9252 tanaka1119@hotmail.com です。

上関原発を建てさせない下関連絡会 事務局次長 鯨野保雄 (090-4898-0128)

生命・脱核シルクロード行進(日本・広島～長崎)コース日程

月日	距離(km)	コース	その他
6月02日(金)		東京到着 - 福島犠牲者慰霊行事 - 巡礼準備会議	
6月03日(土)		広島到着 - 巡礼者会議(広島)	千光寺 訪問(未定)
6月04日(日)	12.4	広島平和記念公園(被爆者慰霊行事)(11時)～出発(14時)～廿日市駅(広島)(18時)	
6月05日(月)		学術討論会 <被爆者の歴史> (14:00～16:30 / 広島平和記念資料館会議室)	
6月06日(火)	20.6	廿日市駅(広島)(08:00)～瀬戸内海辺～大竹駅(広島)(16:30)	
6月07日(水)	20.9	大竹駅(広島)(08:00)～欽明路駅(山口)(16:30)	
6月08日(木)	20.8	欽明路駅(山口)(08:00)～周防久保駅(山口)(16:30)	
6月09日(金)	18.9	周防久保駅(山口)(08:00)～福川駅(山口)(16:30)	
6月10日(土)	19.1	福川駅(山口)(08:00)～防府駅(山口)(16:30)	
6月11日(日)	18.5	防府駅(山口)(08:00)～新山口駅(山口)(16:00)	
6月12日(月)		休み	瑠璃光寺 訪問(未定)
6月13日(火)	22.8	新山口駅(山口)(08:00)～宇部駅(山口)(17:00)	
6月14日(水)	21.9	宇部駅(山口)(08:00)～小郡駅(山口)(17:00)	
6月15日(木)	21.9	小郡駅(山口)(08:00)～関門橋～小森江駅(福岡)(17:00)	
6月16日(金)	18.7	小森江駅(福岡)(08:00)～黒崎駅(福岡)(16:30)	
6月17日(土)	21.7	黒崎駅(福岡)(08:00)～赤間駅(福岡)(17:00)	鎮国寺 訪問(未定)
6月18日(日)	21.3	赤間駅(福岡)(08:00)～唐の原駅(福岡)(17:00)	
6月19日(月)	16.0	唐の原駅(福岡)(08:00)～博多駅～聖公会(福岡)(16:00)	
6月20日(火)		休み	観世音寺 大興善寺 訪問(未定)
6月21日(水)	19.5	聖公会(福岡)(08:00)～糸島市～美咲が丘駅(福岡)(16:30)	
6月22日(木)	22.1	美咲が丘駅(福岡)(08:00)～浜崎駅(佐賀)(17:00)	
6月23日(金)	20.0	浜崎駅(08:00)～唐津市(反核デモ)～山本駅(佐賀)(17:00)	反核デモ(KENKANPPS)
6月24日(土)	19.8	山本駅(佐賀)(08:00)～伊万里駅(佐賀)(16:30)	
6月25日(日)	19.5	伊万里駅(08:00)～有田～波佐見town office(長崎)(17:00)	
6月26日(月)	23.9	波佐見town office(08:00)～川棚～松原駅(長崎)(18:00)	
6月27日(火)	22.5	松原駅(長崎)(08:00)～喜々津駅(長崎)(17:00)	
6月28日(水)	21.0	喜々津駅(08:00)～興福寺～長崎駅～長崎平和公園(18:00)	徒歩中興福寺訪問
6月29日(木)		被爆者慰霊行事- 声明書発表 - 記者会見 - 出発	

一歩でも、二歩でもいっしょに歩こう。あなたも私も世界につながることを祈って。



上記の日程は現地の状況によって変更になる場合がありますので、ご注意ください。HP、またはフェイスブックのイベントページで確認をお願いします。一緒に歩いてくださる方を募集しています。一部分でも構いませんので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

Tel +82-10-4234-2134
leewysu@gmail.com
 LEE Won-Young (李元栄)
 Prof. of Suwon Univ. of South Korea

補助連絡先: 日韓環境情報センター(田中博・連絡先 +82-10-6668-9252 / tanaka551119@naver.com)

(E)

おまじつマコ・ケンと生で聞いたの。(5月19日、周南で) テンポの早い活き活きした話の中ではじめに知ったことがいっぱい。

3.11の後、2人のまわりでは昔入もプロクンションも、あの人もこの人もどんく東京のウーロ日本に迷っていた。

マコさんは昔人になる前鳥取大学医学部生命科学科を優等な成績で、3年で中退。

福島原発で何が起ったか知りたくてテレビで流れる東電の記者会見を見たっばしかうノートに書き加ふこい、読んでみたらわからないことがいっぱい。これは記者会見に行つて質問するしかないと言者公見に行くようになった。

そこで、事故(後)とフクイチから放射能が出続けていることをつとめた。

2007年4月に20億ベクレル、7月に10億ベクレル、出てこい、い、い、い、と東電。

飯館村は、35kmの汚染。「レントゲンと同程度の放射能(後)にまわり」と東電は言うが、胸部レントゲンは1回5ミリシーベルト。飯館村の人は1日24回レントゲン検査を受けていることになる。

2007年頃から地元のお母さん達と話し合つたり、どうも運動部の子の父が文化部の子よりも体調が悪い気がするという。調べを見ると、校医、園定は、除染しても30ミリシーベルト。これは年間20ミリベルトに当る。(二れびよし、とするのが今の政府のよう針だが、これは「原発内務担当者」の被曝線量と同じ。(M)

2人がドイツの高校をまわつて福島原発事故の話をしてこれとまわられて行った時のこと。

高校校長達が福島原発で何が起つたかよく知つておるまに、びつくりした。

東電の事故対応の映像を見ている生徒もよく、「津波が原因と言つておるけど、僕は地震が原因だと思つておる」という生徒もいた。

「ドイツは原発をやめることができたのに日本はなぜできないと聞いておるか」と質問したり。

「日本人は怠けておると聞いておる。ドイツが原発を止めただけ努力してまたか知つておるか。」

日本人は集会やつて、カンパワジ売つて原発が止められると思つておるか」とゆつたおつた。

福島のお農業についてのも凡評被る言々ばかりが言われるが、実際に農家の人がいらはん気にはいることは、農作業における放射線ヒバクをどうしてこれるのかという問題。政府は夏でも長袖長ズボン、マスクをし、屋外では水も飲まないでと、机上の空論ばかり。

お二人は2006年「平和・協同ジャーナリスト基金」奨励賞を受賞されました。(三浦文)

周南市の藤本明美さんの感想文です。

「おしとりマコ&ケン」名前は知っていたけど深夜TV番組を観て、その明かるとか画面から伝わって来ました。東電の記者会見場で腕をまますぐに上げて、小気味好い質問を浴びせるマコさんなんて聡明な女性と思ひました。徳山の講演を聴いて、お二人の情報収集と分析力、知識を元にした迅速な行動力に圧倒されました。

汚染土の処理・搬送にさらされる子どもたち起きておる事は深刻な現実なのですが、暗い気持ちにはなりません。

後半の質疑に対しても、親切で的確な答えがありました。

このように頭の良い芸人さんを業界から締め出さないで下さい。

おしとりマコ・ケンさんが、原発のことを捜さどったとたん、吉本からもうテレビからもいじめの仕事をもらなくなつたぞうだ。

なんとおつたことだ、この国はもう言論の自由のある民主主義の国ではおないのだ。だからテレビのドタバタがどうとも聞かないのさ。

マコさんは、みんな「社会問題や政治にしろくした周んを持てほしいと言つておりました。

誰もが興味は？と聞かれたら「ジャズを聞くこと、夏田問題でーす」とおつた。

ドイツの高校生のことを聞くと、おつた。

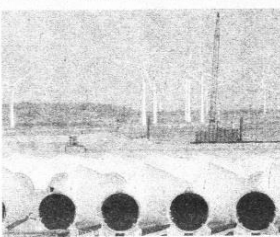
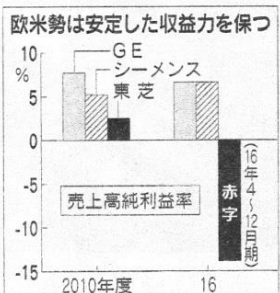
ピンを差し出すと「大丈夫です」と言つて、何か優越感のこぼれを露骨にだたわけておつた。日本の高校生たちはいったい何を考えおつたらうか。M.

由東芝の「原発のめぐりめぐりには経営者が深く関与していることが明らかになっている。

17.5.5日経

重電世界2強の独シーメンスと米ゼネラル・エレクトリック(GE)の業績が堅調だ。けん引役は電力事業。天然ガスで発電するガスタービンや風力発電向け機器などが好調だ。両社ともに2011年3月の日本の東日本大震災を機に原発事業から距離を置き、経営資源を火力や再生エネルギーにシフト。原発に注力し続けた東芝との明暗が分かれた。

独シーメンスと米GE 「脱原発」業績けん引



シーメンスはガメサ買収で風力発電関連事業を拡大(デンマークの洋上風力発電=ロイター)

東芝と明暗分かれる

シーメンスは11年に原設備大手ガメサの買収を1~3月期は最終赤字に子力発電事業からの撤退、完了、風力発電事業の売上高は110億円に上を決定。11年3月の東京 上高は110億円に上を決定。11年3月の東京 上高は110億円に上を決定。11年3月の東京 上高は110億円に上を決定。

一方、今年4月(CEO)は電力ビジネスエネの売上高も22%増と弾みがついてきた。

一方の東芝は福島事故後も原発にこだわった。故後も原発にこだわった。故後も原発にこだわった。故後も原発にこだわった。

産官にはその利権の果実をばらまいた視界狭さとも生心のごぼほいか。これでは国民は空室自らの身。

しかも現は首相秘書官を牛耳っているのは経営官僚という噂。

波心しいことにヒバクニ世の肉親はヒロシマアガサキごは終らないことに。

フクシマの事故のヒバクもすっかり国は補償しなければいけない。

土東任をどうもなければ被害をばらばらとはしないだろう。

17.5.10.中口

放射線の遺伝影響不安

広島地裁初弁論 被爆2世援護訴訟

国が被爆2世への援護措置を怠っているのは違憲として、広島や山口など5県の被爆2世22人が1人当たり10万円の慰謝料を求めた訴訟の第1回口頭弁論が9日、広島地裁であった。原告側は放射線被害の遺伝的影響への不安を訴え、国側は請求棄却を求めた。

の平野克博事務局長(59)は「広島市は『原爆投下から70年以上が経過し、なぜ2世は不安が解消されないまま生き続けなければならないのか』と強調。肝臓がんで被爆者の父を亡くした中学校教諭占部正弘さん(58)は『福山市も』自分もがんになったことが一番の心配事』と訴えた。

原告側は山口県の男性1人の追加提訴を予定しているとして、慰謝料の支払いを求めている。

の可能性が指摘されていたのに、国は被爆者援護法を適用せず、他の援護措置も怠ったと指摘。発病を恐れる精神的苦痛を常に被っているとして、慰謝料の支払いを求めている。(有岡英俊)

3人が意見陳述。母が広島で入市被爆した全国被爆二世団体連絡協議会(二世協)

「追って準備書面で主張する」として

法制化ならお墨付き 核心

「共謀罪」捜査 既に横行

【共同通信】の通信本部が編纂した「共謀罪」に関する調査報告書は、一九九九年、衆議院法制委員会が可決された。審議の中で、政府は「一般には捜査対象にならない」「一般社会に不安を招く」として「厳罰化」を説明してきた。だが、現行法の下のでも、本邦に国籍を有する外国人、一審判決に服した外国人の捜査に、すでに共謀罪を先取りするよう捜査官が横行している。



①集会で五月九日に及んだ拘留を振り返った沖縄平和運動センターの山城博治議長（五月九日、東京都千代田区千代田の平和運動センター）



②選挙や反原発運動に取組んで来た船田伸子さんの話を聞く集会の参加者ら（五月九日、東京都千代田区千代田の平和運動センター）

山城議長ケース

集会で拍手「賛同」 日程の説明「協議」

「弾圧」

衆院委可決

一九九九年、衆議院法制委員会が可決した「共謀罪」に関する調査報告書は、一九九九年、衆議院法制委員会が可決された。審議の中で、政府は「一般には捜査対象にならない」「一般社会に不安を招く」として「厳罰化」を説明してきた。だが、現行法の下のでも、本邦に国籍を有する外国人、一審判決に服した外国人の捜査に、すでに共謀罪を先取りするよう捜査官が横行している。

「危険人物」

五月九日に東京・千代田区千代田で開かれた共謀罪反対集会には、選挙区反原発運動に取組んで来た船田伸子さんの話が聞かれた。船田さんは、選挙区反原発運動に取組んで来た船田伸子さんの話を聞く集会の参加者ら（五月九日、東京都千代田区千代田の平和運動センター）

山口県周南市にも来て下さって、「辺野古に上砂を吐かせない山口の之」で語り、歌って下さった山城さん。
5ヶ月もの長期拘留には、アムネスティはじめの世界から抗議の声があがりました。

イベント情報

6月4日(日) 14:00~17:00 山口市民館大ホール	戦争させない、9条壊すな! 総がかり行動かわらち県民大集会 ゲスト:フジコ・野呂、内山新吾 各地からの報告、デモ	実行委員会 tel.083-922-1841
6月5日(月) 14:00~16:30 広島平和記念資料館	生命・脱核シロロ十行進 学術討論会<核爆者の歴史> こづけつ厚、中島哲彦	
6月7日(水) 6月15日(木)	生命・脱核シロロ十行進 山口県内行進。日程は⇒P⑥に	☎090-4898-0128 (鉄野)
6月7日(水) 10:40~ 県庁ロビエ	朝鮮学校補助金復活対策交渉	山口県補助金対策委員会 tel.083-223-9533
6月10日(土) 10:00~11:30 カンプレツ山形視聴覚室	平和市民大学1回 「東アジアの現状と安保法制」 講師 絳 絳 厚さん	総がかり行動 地区実行委員会 ☎070-5050-2226
6月14日(水) 11:00~ 山口地裁	上戸原発用地埋土禁止住民訴訟	
6月23日(金) 地裁 午後3時~ 岩国支部	(予)原発禁止メ復処分申し立て裁判	
6月24日 15:00~18:00 周南市1515 地下6F (飯倉会)	シンポ「ジウム」瀬戸内海21何の起き 「21何の起き」 湯浅一郎、小倉正、松田宏明、大谷正徳	環瀬戸内海協議 ☎086-243-2921
6月25日(日) 山口県教育会館 前売 1200円 当日 1500円	映画「標的の島 風かたの」 ①10:30~②13:30~③18:00~ 三上智恵カクトフ 15:30~17:00 喫	西京シネマ tel.083-928-2688



スクープしたジャーナリストが 悲痛な訴え 「復興予算」

週プレNews 2016年3月16日

復興予算が被災地とは直接関係のない事業に使われていた、いわゆる「復興予算の流用問題」が発覚したのは、震災から1年半ほど経過した2012年7月のこと。

誰もが被災地のために使われると信じていたお金が、全国各地の公共事業や霞が関の庁舎改修資金、円高対策、原発関連事業や調査補給などに使われていたのだ。「復興」に便乗し、各省庁によって食い物にされていた事実が明らかになると、当時の民主党・野田内閣は強い批判を浴びた。そして政府は「復興基本計画」を大幅に見直しはせず、だった…。

しかし、復興予算の流用は今も続いているという。2012年当時、この問題をいち早くスクープし、その後『国家のシロアリ』復興予算流用の真相』（小学館）を上梓（じょうし）したジャーナリストの福嶋ひとみさんに話を聞いた。

—3・11から5年の月日が流れました。被災地の復興をどのように見ていますか？

福嶋 特に津波で大きな被害を受けた東北の沿岸部の復興に関していえば、ようやく一部の地域で高台移転のためのかさ上げ工事が終わったという段階で、生活再建どころか、「5年かけて、やっと一部の地域で更地ができました」というのが、被災地の現状だと思います。

—復興庁が今年2月にまとめた資料によると、今も17万4千人が避難生活を強いられ、約6万6千戸の仮設住宅があります。復興の足取りはあまりに遅い、という印象を受けます。

福嶋 復興予算は当初が約19兆円でしたが、さらに膨らみ5年間で約26兆円という巨額の予算が組まれました。そのうち被災地に使われたお金のほとんどが高台移転のためのかさ上げ工事や防潮堤整備などの土木工事に使われています。被災者の生活再建に充（あ）てられたのはごく一部でしかありません。

それ以上に問題だと感じるのは、各省庁によって今もなお復興予算の一部が、被災地の復興と直接関係のないと思われる事業に流用され続けていることです。

—復興予算の流用は、福嶋さんの記事で大きな問題になり、「復興基本計画」の中身は見直されたはずですが？

福嶋 以前に比べるとあからさまな流用は減りましたが、平成27年度の復興予算の明細書を見ると、きちんと見直されたとはいえません。例えば、防衛省の防衛復興政策費（武器車両等の購入に必要な経費ほか）として計上された316億3745万円、内閣府の沖縄教育振興事業費（公立文教施設整備に必要な経費）14億8136万円、そのほか文科省の核融合研究開発推進費や国土省の北海道開発事業費など、首をかき上げてしまう事業はいくつもあります。

なぜこのような流用がいまだに行なわれているかという点、当時も問題視された「全国防災対策費」が見直されず、この5年間続けられてきたからです。

これは被災地外の公共事業予算のことで、流用問題以降、原則禁止としながら実は「津波対策」や「学校の防災事業」には使ってもいいと「例外」を設けたのです。2012年に問題視されたスキームが今も基本的に変っていません。

また、防衛省の航空機修理費のように額の大きなものは、流用が問題になる前にちゃっかり数年に分けて復興予算から支払う契約を結んでしまっていたのです。流用との指摘を受けていても、「一度契約したものは難しい。違約金がかかる」などの理由で継続になっているものもあります。

—2012年に復興予算の流用が問題になった時、当時の民主党・野田政権は批判を浴び、野党だった自民党も流用問題で民主党を厳しく追及しました。結果的にこれが政権交代のきっかけの一つになったわけですが、でも、自民党政権になってからの3年間も結局は同じだった？

福嶋 そもそも、2011年6月に成立した「復興基本法」は民主、自民、公明の3党合意に基づくものでした。

その成立過程で、当初は復興予算の使途を被災地に限定していた民主党が被災地以外にも使える形に修正されたのは、「国土強靱化」を提唱していた野党・自民党の要求があったからです。「全国防災対策費」という名の下に、被災地以外にも大規模な公共事業をできるようにしたかった自民党の修正案を民主党の菅政権が受け入れたのです。つまり、当時の官邸と自民党が協力して「被災地以外への流用」が可能になるスキームをつくったといえるでしょう。

その後、政権交代で再び自民党が与党になると、安倍政権は「復興特別会計」とは別に一般会計に「復興枠」を設けて、復興・防災事業の冠（かんむり）をつけることで公共事業を積極的に行なってきました。

その結果、被災地以外に使われる予算は急拡大しました。ですから、自民党政権になっても何も変わっていないどころか、復興と防災という言葉を利用して、より堂々と被災地以外での事業が進められてきたともいえるでしょう。

ところが不思議なもので、以前、あれほど批判を浴びた公共事業が「防災」という名前がつくと、国民は誰も文句を言わなくなるんですね。

—増税までして集めた復興予算が被災地の復興とは直接関係ない多くの事業に使われ、一方で被災者の生活再建がまだまだ道半（なか）ばという現状はなんともやりきれません。

福嶋 政府の復興基本計画では震災からの5年間で「集中復興期間」が終わり、4月以降は「復興・創生期間」として6.5兆円規模の復興予算が追加される予定です。

そのお金が本当に被災地の復興に生かされるためには、より多くの予算と権限を「地方」に移譲する必要があります。そうすることで、各被災地の様々な現状やニーズに合わせて、復興を加速させるための柔軟で現実的な事業が可能になるからです。

ところが現実には、中央の官僚が予算の権限を握ったまま、大型の公共事業ばかりが優先され、被災者・被災地に関係あるとは思えない事業に復興予算が流れ続けている。これでは、4月からの予算も流用の餌食にならないとも限りません。

この状態を見逃している政治家やメディアの責任は大きい。今こそ声を上げ、流用されないためのスキームづくりを早急に議論すべきではないでしょうか。

(インタビュアー・文/川島田 研)

★

■東日本大震災復興特別会計とは？

2011年3月11日 - 東日本大震災発生。

2011年11月30日 - 参議院本会議で復興財源確保法、地方財源法が可決、成立。（第179回国会）

2014年4月1日 - 東日本大震災復興特別会計法施行

（国会、裁判所、会計検査院、内閣、内閣府、復興庁、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省の17省庁が関係）

・税負担

所得税：2013年（平成25年）1月1日からの25年間、税額に2.1%を上乗せして徴収。

法人税：2012年（平成24年）4月1日以降からの3年間、税額の10%を追加徴収。14年に1年前倒しで廃止。

住民税：2014（平成26）年度から10年間、年間1,000円を加算。

税の使途：被災地に限定。政府はこれらの増税で10.5兆円を捻出する予定。

・復興予算の執行状況

2011年度（一般会計）	約9兆円
2012～2017年度（復興特会）	約19兆円
予算の支出済合計	約28兆円
5年度の平均執行率	63.2%

（ウイキペディア、財務省資料参考）

2013年12月に発行された「国家のシロアリ」。その最終頁に、福嶋ひとみさんは、およそ次のように書いています。

……

私たちは税金の使い道を政治家や官僚に託している。予算のあるべき使途を決め、執行させるために政治家や官僚を存在させ、適切に執行されるものと信頼し期待している。しかし、復興特別会計の流用問題は、その根幹を揺るがすものだった。

一方、私たちは多くの税金を払いながら、その使途について彼らに任せきりで、何も知ろうとしてこなかったのではないかと。

国家のシロアリを生む最大の要因は、国民の無関心かもしれない。

……

多くの省庁を巻き込んだ聴知らずの復興特会の流用。その流用が合法的にできる法律を作ったのも官僚と政治家。国民にばれて一時はシュンとなって、時がたてば元の木阿弥。被災者の悲痛な思いを横に、復興予算の流用は現在も続いています。

このことの要因が国民の無関心があるとすれば、明日はわが身に。私たちは復興特会の問題から、この国の闇の世界「特別会計」について、もっともっと知らなければいけないと思います。（つづく）

2017年4月18日 ちらし作成「アヒンサー」



福嶋ひとみさんが上梓した『国家のシロアリ』

ネアヒンサーとは、サンタクリット語で、殺されたくない、殺したくないと言った意味です。